

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	首都圏-2	(2)記載者氏名:	塩澤 厚	会員番号:	9086	事務局整理記入欄	三水会-3
分水嶺区分	E539余地峠～E538△1337.4峰	(3)山行日:	2004年	11月	21日	(4)天候	晴

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

平澤 哲臣	10612						
古市 進	10959						
石原 康生	12422						
計				3名			
計				名			

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		余地ダム～余地峠～1337.4m～引返し点～余地峠～余地ダム											
アプローチ:		余地ダムまで車使用											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	余地ダム	海瀬	138	34	07	36	09	45	1,096		7:15		
分水嶺到達点E539	余地峠	海瀬	138	35	15	36	09	34	1,273	7:55	8:10	A-1	
	最初の瘤	海瀬	138	35	13	36	09	40	1,293	8:12	8:15	B-2	
E538	1337.4峰	海瀬	138	34	39	36	10	05	1,342	9:30	9:45	B-2	写真1) & 2)
	引返し点	信濃田口	138	34	45	36	10	13	1,286	12:00	12:30	B-2	
分水嶺離別点E539	余地峠	海瀬	138	35	15	36	09	34	1,270	13:15	13:30	B-2	
歩行終了点	余地ダム	海瀬	138	35	07	36	09	45	1,096	14:10		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												5時間37分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E538	1337.4m	3	正	良好	頂上は細い樹木が密生し見晴らしはよくない

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

1)分水嶺上ではないが、余地峠に上がっている余地川の標高1100mほどから上流は2004年春にできた余地ダムがある。 最新の1/2.5万の地形図「海瀬」には、この記載はない。2004年発行の昭文社の山と高原地図「西上州」には記載がある。
2) 1337.4m峰(3等三角点)の西150mほどのところに鉄平石の石切り場があり、下から車道が延びている。

(9)水および植生に関連した特記事項


(10)その他の特記事項


(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

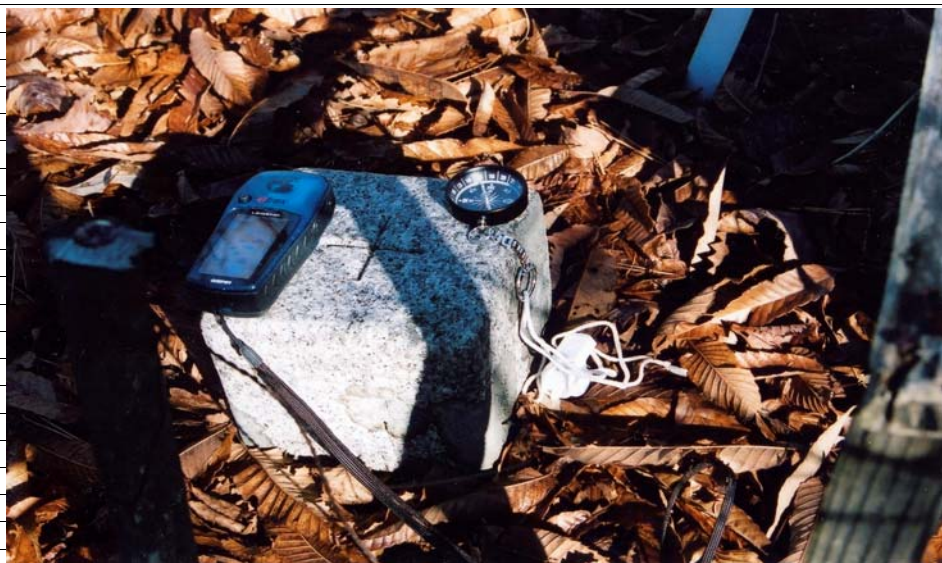
写真説明: 1) 余地峠から1337.4m峰への途中,      2) 1337.4mの3等三角点

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



余地峠から1337.4m峰への途中



1337.4mの3等三角点